

セキュリティ

基本情報	ホワイトボード	サウンド	ファイル	各種データ	アクセス権限	セキュリティ	定時動作
------	---------	------	------	-------	--------	--------	------

接続許可ID

追加 削除

接続許可アドレス

追加 削除

接続拒否ID

追加 削除

接続拒否アドレス

追加 削除

永続的に拒否をする。(一度でも接続拒否したクライアントは永続的に拒否する)

●内部IDやアドレスで、接続の拒否を行えます。アドレスには、先頭のみ「*」をつけて範囲設定が可能です。(IPアドレスには「*」使用できません)
例「*.sample.com」「*test.com」

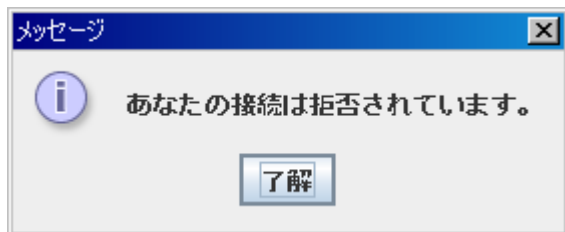
主な使用方法としては、接続を拒否したい人のIDまたはアドレスを、拒否IDか拒否アドレスに設定します。
必要に応じて、特定の人を許可リストに登録することで、拒否リストに該当していても必ず接続できるようになります。

●注意：永続拒否をすると、一度でも接続を

接続の許可及び拒否の設定を行います。

接続許可 / 接続拒否

追加 / 削除ボタンを押すことで、接続を許可 / 拒否するクライアントを指定できます。クライアントの指定方法は後述します。なお、接続を拒否されたクライアントには、拒否されたことを示すウィンドウが表示されます。



永続的に拒否をする

チェックすると、一度でも接続拒否をしたクライアントは、その後、接続拒否リストから外されても接続されなくなります。接続を再度許す場合は、許可リストに入れるか、あるいはチェックを外します。

接続許可と接続拒否の両方に含まれる場合は、接続が許可されます。

クライアントの指定方法

クライアントを指定する方法は、

1. クライアントID
2. アドレス (ドメイン名またはIPアドレス)

の2つがあります。

